参考になる取組事例一覧

四国運輸局

対策	番号	事業区分	事例	四国内	四国外
Ⅰ.補助金等の活用	①	タクシー	補助金制度の有効活用	●	
	②	バス・行政	路線バス乗務員確保対策助成金制度		●
	③	行政	乗りたくなる公共交通推進事業費補助金		●
Ⅱ.施設整備等の待遇改善	④	バス	社員寮の完備/社員寮内に温泉を整備		●
	⑤	タクシー	企業主導型保育所の設置		●
	⑥	バス	業務意欲に応じた給与制度	●	
Ⅲ.営業活動及び接遇の強化	⑦	鉄軌道	自社資源を活用した就職体験イベント	●	
	⑧	バス	時間外仕業を含めた仕業設定	●	
	⑨	タクシー	配車係のハラスメント対策	●	
	⑩	バス	沿線住民宅への戸別訪問		●
Ⅳ.新たな収益源の確保	⑪	バス	マルシェバスの運行		●
	⑫	バス	移動型サウナバス「サバス」		●
	⑬	タクシー	救援事業の実施		●
Ⅴ.対外的なPR活動の強化及び優良事例の周知	⑭	行政	運輸のお仕事魅力発見バスツアー	●	
	⑮	行政	魅力発信のためのパンフレット、DVDの作成	●	
	⑯	タクシー	社長ブログでの各種取組紹介	●	
Ⅵ.法的制約の緩和	⑰	行政	道路交通法の改正による免許の取得条件の緩和		●
Ⅶ.行政と事業者間の連携強化	⑱	タクシー	ジョブカードの活用		●
	⑲	タクシー・行政	「宅配等事業」地域おこし協力隊の募集		●
	⑳	バス	定住支援制度の活用による住居補助	●	
	㉑	行政	リッツMC株式会社との協働による人員確保	●	
	㉒	行政	「ニューたかしま乗組員」の募集		●
	㉓	行政	「ノッカルあさひまち」の導入		●
	㉔	バス・行政	バス運行体制の一本化を柱とする路線網の再編		●
	㉕	鉄軌道・バス	路線バスや鉄道の競合区間における共同経営の概念の導入	●	
Ⅷ.事業者団体の活動促進	㉖	事業者団体・行政	就職氷河期世代向けの短期資格等習得コース事業		●
	㉗	事業者団体	大型バス運転体験会の開催		●
	㉘	行政	働きやすい職場認証制度		●

参考になる取組事例の内容とポイント（1）

Ⅰ 補助金等の活用

取組	①補助金制度の有効活用						
実施主体	舞子タクシー有限会社（愛媛県松山市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○	○	○				
内容	各種補助金・助成金を経営者自ら常に最新情報を確認して監督官庁と協議、有効活用することによる雇用維持、従業員の生活の安定。						
ポイント	経営者自ら率先して補助金の情報収集と活用に努めている。						

取組	②路線バス乗務員確保対策助成金制度						
実施主体	旭川市地域振興部都市計画課、旭川電気軌道株式会社／道北バス株式会社（北海道旭川市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○				○	
内容	旭川市に転入し、市内に本社を置く路線バス会社に乗務員として就職した方に、助成金を支給する。 ・北海道外から旭川市へ転入の方　1名につき定額30万円 ・北海道内他市町村※から旭川市へ転入の方　1名につき定額10万円 ※鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町を除く。						
ポイント	地方公共団体と事業者が連携して取組を行い、補助金を有効活用している。						

取組	③乗りたくなる公共交通推進事業費補助金						
実施主体	富山県地方創生局総合交通政策室地域交通・新幹線政策課（富山県）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○			○		○	
内容	【イメージアップ事業】 市町村や交通事業者が行うバスや軌道車両のラッピング、内装のリフレッシュ等、イメージアップに必要な経費に対し支援を行い、乗りたくなる公共交通を推進するための事業。 【利用促進事業】 NPO法人等任意団体が行う公共交通の利用促進を目的とした企画を実施するのに必要な経費に対し支援を行い、公共交通利用のきっかけづくりの機会を増やし、公共交通の利用促進を図るための事業。						
ポイント	事業者の資金力のみでは実施が困難な、費用のかかる利用促進活動に対して補助金を活用している。						

参考になる取組事例の内容とポイント（2）

Ⅱ 施設整備等の待遇改善

取組	④社員寮の完備／社員寮内に温泉を整備						
実施主体	亀の井バス株式会社（大分県別府市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○	○			
内容	温泉地ならではの特徴を生かし、車庫内に男子風呂（温泉）を完備。 営業所から徒歩1分の場所に、男子寮・女子寮も完備している。						
ポイント	地域ならではの魅力を活かしてPRすることで、移住者の採用に繋がりやすい。						

取組	⑤企業主導型保育所の設置						
実施主体	株式会社ハートフルタクシー（神奈川県海老名市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○	○			
内容	企業主導型保育事業として敷地内に保育所を設置。ノルマなしの時給制で、子育て中の女性も安心して就業できる環境を整えている。						
ポイント	子育て環境を整備することで、今まで採用の門戸を開けていなかった女性の取込みを図ることができる。						

取組	⑥業務意欲に応じた給与制度						
実施主体	伊予鉄バス株式会社（愛媛県松山市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○				
内容	高速乗務可否・貸切乗務可否・時間外休出可否等の個人の能力や業務意欲に応じ、給与をベースアップする制度を創設。						
ポイント	個人の働き方や意欲が給与に適切に反映される仕組みとしている。						

参考になる取組事例の内容とポイント（3）

Ⅲ営業活動及び接遇の強化

取組	⑦自社資源を活用した就職体験イベント						
実施主体	高松琴平電気鉄道株式会社（香川県高松市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○	○			
内容	就活サイト系等のブースでの合同説明会形式だと、実際の就業イメージが伝わりにくく多額の費用もかかることから、自社の車両を使った車内放送やドアの開閉体験、運転台見学などの就職体験イベント（運転士、車掌、工務係の先輩社員と対談できる機会も設定）を実施。						
ポイント	直接採用に繋がりやすい取り組みを事業者自らが率先して取り組んでいる。						

取組	⑧時間外仕業を含めた仕業設定						
実施主体	とさでん交通株式会社（高知県高知市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○				
内容	通常仕業に時間外仕業（特仕業約2時間30分）をあらかじめ設定し、運行管理者が運転士に特仕業を要請する負担を軽減するとともに時間外の平準化を図る。						
ポイント	限られた運転士を公平に最大限活用する取組で、運行管理者の負担も軽減できる。						

取組	⑨配車係及び乗務員のハラスメント対策						
実施主体	舞子タクシー有限会社（愛媛県松山市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○				
内容	配車係及び乗務員への各種ハラスメントを防止するため、 ・配車係を分社化し、配車のやり取りにおいてもハラスメントを適用する ・運送約款にハラスメント防止を記載する（対乗客及び配車依頼） とすることで、配車係及び乗務員へのハラスメント対策を講じている。						
ポイント	接遇強化とともに社員のハラスメント防止の観点で先進的な取組である。						

参考になる取組事例の内容とポイント（4）

取組	⑩沿線住民宅への戸別訪問						
実施主体	十勝バス株式会社（北海道帯広市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○		○	○			
内容	「なぜバスに乗らないのか」を探るため、バス路線の住民宅を戸別に訪問。「バスの乗り方がわからない」という声を受け、乗り方を掲載した「おびひろバスマップ」を作成したり、路線バスに乗ってみる動機付けを地道な営業活動の中で展開していった。						
ポイント	具体的な営業活動を実施している公共交通事業者が少ない中での積極的な活動事例。						

参考になる取組事例の内容とポイント（5）

Ⅳ 新たな収益源の確保

取組	⑪マルシェバスの運行						
実施主体	十勝バス株式会社（北海道帯広市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○		○	○	○	○	
内容	遊休状態にある路線バスの車両後方を改造して、マルシェ機能を付与。始発出発前（帯広駅）や停車中（大空団地）、終点到着後（郊外商業施設）で移動販売店舗として運用。途中のバス停で商品を積み込む。						
ポイント	旅客運送収入だけに頼らない新たな収益源の確保に積極的に努めている。						

取組	⑫移動型サウナバス「サバス」						
実施主体	株式会社リバース／神姫バス株式会社（兵庫県姫路市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○		○	○			
内容	神姫バス株式会社で運行していた路線バスの車両を、移動ができるサウナに改造したもので2022年2月完成。完成後は大型駐車スペースのある施設やアウトドア施設など、企業や事業者向けに車両を貸し出す形で多様な事業展開する予定。 神姫バス株式会社より「出向起業」し「株式会社リバース」を設立。経済産業省令和3年度予算「大企業人材等新規事業創造支援事業費補助金（出向起業等創出支援事業）」に採択されている。						
ポイント	既存の概念にとらわれない新しい収益源の確保事例である。						

取組	⑬救援事業の実施						
実施主体	冨士第一交通株式会社（島根県大田市） ほか						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○	○	○			○	
内容	※冨士第一交通の事例 スタート30分1,500円／以降15分毎に750円加算 買い物代行、緊急を要する忘れ物のお届け、バッテリーチャージ（別途1,000円）、戸締り確認、チケットやお薬の購入代行などを乗務員が行う。						
ポイント	既存のビジネスモデルにとらわれず、住民が必要とする新たなサービスについて積極的な検討を行っている。						

参考になる取組事例の内容とポイント（6）

Ⅴ対外的なＰＲ活動の強化及び優良事例の周知

取組	⑭運輸のお仕事魅力発見バスツアー						
実施主体	愛媛県						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○	○		○	
内容	県内のトラック、バス、鉄道、旅客船の各業務現場を巡り、実際に働く人の経験談を聞ける職場見学バスツアーを開催。 定員30名に対し毎回20名以上の参加があり、参加者は高校生や大学生や20代中盤が多い。						
ポイント	実際の就業現場に行ってみることができ、求職者にとってイメージが掴みやすい。						

取組	⑮魅力発信のためのパンフレット、DVDの作成						
実施主体	愛媛県						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○	○		○	
内容	運輸業界で働く人々の１日をクローズアップし、働き甲斐にスポットを当ててスタイリッシュにまとめたパンフレットやDVDを作成。 県内の学校等に配布するほか、現地説明会や四国運輸局の公共交通キャンペーン等で設置、配布している。						
ポイント	魅力や個人の働き甲斐や人生観をまとめることで、業界のイメージアップに貢献している。						

取組	⑯社長ブログでの各種取組紹介						
実施主体	舞子タクシー有限会社（愛媛県松山市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○	○			
内容	社長ブログで自社の働き方や魅力、従業員に対する想い等を広く発信。 若年者からの求人問い合わせが来るようになった。						
ポイント	業界のネガティブな面だけでなく、実際に働く人の他業種と比べた働きやすさ等をブログで発信することで、かしこまった場では聞きにくいリアルな現状を広くPRしている。						

参考になる取組事例の内容とポイント（7）

Ⅵ 法的制約の緩和	取組	⑰道路交通法の改正による免許の取得条件の緩和						
	実施主体	警察庁						
	対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
						○		
	内容	道路交通法の改正（2022年3月15日施行） 【大型免許の受験資格】 「21歳以上で普通免許保有歴3年以上」→「19歳以上で普通免許の保有歴1年以上」 【中型免許の受験資格】 「20歳以上で普通免許保有歴2年以上」→「19歳以上で普通免許の保有歴1年以上」 【第二種免許】 「21歳以上で普通免許等保有3年以上」→「19歳以上で普通免許等保有1年以上」						
	ポイント	高卒採用者の運転業務以外の雇用期間が短縮でき、事業者の高校生採用の門戸拡大が期待される。						

参考になる取組事例の内容とポイント（8）

Ⅶ 行政と事業者間の連携強化

取組	⑱ジョブカードの活用						
実施主体	美勢タクシー株式会社（長野県塩尻市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○	○	○			○	
内容	ジョブカード制度を活用し、職業能力開発として大型二種免許を取得。免許取得の経費を削減し、運転士になるためのハードルを下げる。						
ポイント	行政の制度を事業者が有効活用している。						

取組	⑲「宅配等事業」地域おこし協力隊の募集						
実施主体	下川町役場税務住民課、株式会社下川ハイヤー（北海道下川郡下川町）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○		○			○	
内容	地域おこし協力隊として委嘱し、株式会社下川ハイヤーと雇用契約を締結。 高齢者等へ地域のお店の商品を高齢者等への宅配や大手宅配事業者の宅配業務の貨客混載を実証しながら生活支援を行い、宅配業務のノウハウを習得。その後、2種免許を取得（取得費用は全額または一部を地方公共団体が負担）して乗合タクシー業務などを担い、地域おこし協力隊の任期終了後は、下川ハイヤーに就職し、下川町に定住してもらう。						
ポイント	過疎地の事業者の人員確保策として有効。						

取組	⑳定住支援制度の活用による住居補助						
実施主体	高知高陵交通株式会社（高知県須崎市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○	○		○	
内容	UIターンの採用に際し、自治体の定住支援制度を活用。						
ポイント	事業者の負担が少なく、移住者の採用に有利な条件を確保している。						

参考になる取組事例の内容とポイント（9）

取組	㉑リッツMC株式会社との協働による人員確保						
実施主体	高知県						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
		○	○	○		○	
内容	リッツMCに委託して次の3点の取組を行っている。 ・「バスドライバーnavi（どらなび）」サイト内で高知県特集ページを作成し、高知県内のバス事業者をPR。 ・バス運転士専門の就職イベント「どらなびEXPO」で、高知県ブースを出展。 ・バス営業所見学会の開催。						
ポイント	バス事業者、専門業者及び行政が連携して、バス運転士の求人の全国展開を実現。						
取組	㉒「ニューたかしま乗組員」の募集／行政のUIターンと連携した乗組員の確保						
実施主体	唐津市移住定住・交通政策課、佐賀県庁移住支援室、ふるさと回帰支援センター（東京）、佐賀玄海漁業協同組合						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○	○		○	
内容	「さが暮らしセミナーVol.10　SIMPLE　LIFE　唐津」の中で、島に移住し島民の足となる定期船を支える乗組員を募集。						
ポイント	行政の行う取組と協働することで、費用負担を軽減しながら活動を行っている。						

参考になる取組事例の内容とポイント（10）

取組	㉓「ノッカルあさひまち」の導入／事業者協力型自家用有償運送の導入						
実施主体	富山県朝日町						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○		○			○	
内容	・住民同士の助け合いの精神を活かした、モビリティの課題を解決する公共交通サービス「ノッカルあさひまち」を導入することで、住民が目的にあった公共交通を選択できるようになる。 ・事業者協力型自家用有償運送の導入により、交通事業者のノウハウを引き継ぎつつ、担い手を確保。						
ポイント	・行政、事業者間の連携により、無理のない運行計画と持続可能な交通を構築。 ・事業者には一定の収入が入る形で運行の担い手を確保（事業者の事業継続にも効果）。						

参考になる取組事例の内容とポイント（11）

取組	㉔バス運行体制の一本化を柱とする路線網の再編						
実施主体	佐世保市、佐世保市交通局・西肥バス・させぼバス						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○					○	
内容	西肥バス・佐世保市交通局・させぼバスの3社体制で運行していたバス路線網について、運行体制を西肥バスに一本化した再編を実施。営業所・回転場所の相互利用等、バス事業運営の効率性も向上 地域住民を巻き込み、佐世保市が事業者とともに各地区で説明会を開催し、意見交換を実施。利用者の少ないバス路線から予約制乗合タクシーへ転換する際には、地域・事業者・行政がそれぞれの役割分担を持ち3社で支える仕組みとし、地域の方々が主体的に参画し運行を確保。						
ポイント	行政、事業者間の連携により、無理のない運行計画と持続可能な交通を構築。						

取組	㉕路線バスや鉄道の競合区間における共同経営の概念の導入						
実施主体	徳島バス株式会社、JR四国						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
	○					○	
内容	高速バス途中乗降と鉄道の運賃面での連携を図り、JRきっぷや定期券といったJR乗車券類で高速バス途中乗降の利用を可能とする取組を実施。また、阿南駅等で鉄道とバスを乗り継ぐ場合には、JR乗車券類による通し運賃を適用することで、乗換時の初乗り運賃を不要とする。これにより、鉄道とバスの双方を同じ地域旅客運送サービスとして、より便利にご利用いただくことが可能となる（並行モード連携モデル）。						
ポイント	異なる交通モードの事業者間の連携により、無理のない運行計画と持続可能な交通を構築。						

参考になる取組事例の内容とポイント（12）

Ⅷ事業者団体の活動促進

取組	㉖就職氷河期世代向けの短期資格等習得コース事業						
実施主体	全国ハイヤー・タクシー連合会、厚生労働省						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
			○			○	
内容	35～54歳まで就職氷河期世代を対象に、第2種運転免許の取得やコミュニケーションセミナーなどを提供し、タクシー会社への正社員としての就職までを無料で支援する（令和2年度～令和4年度までの3年間限定事業）。						
ポイント	二種免許取得という応募の障壁を行政と事業者団体が協力して軽減している。						
取組	㉗大型バス運転体験会の開催						
実施主体	広島県バス協会（広島県広島市）						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
				○		○	
内容	普通自動免許(AT限定可)をお持ちの50歳未満の方を対象に、運転体験会を通じて関心のある人を集め、各社の採用につながる機会を提供する。						
ポイント	事業者団体自らが主催する積極的な活動事例。						
取組	㉘働きやすい職場認証制度						
実施主体	国土交通省、厚生労働省、（一社）日本海事協会						
対応する課題	経営基盤の改善	待遇の改善	経営・営業マインドの改善	業界のイメージアップ	法的制約の緩和	連携体制の構築	運営資源の確保
				○		○	
内容	国土交通省と厚生労働省が連携して、職場環境改善に向けたトラック、バス、タクシー事業者の取組みを「見える化」することで、求職者の運転者への就職を促進し、各事業者の人材確保の取組みを後押しすることを目的とした制度。						
ポイント	働きやすい職場を見える化することで、職場環境の改善につながる。						